

2025年1月16日

合同会社International Linkage
ドイツメッセ日本代表

世界の製造業をリードする産業見本市 「HANNOVER MESSE 2025」

「産業用エネルギー」展示エリア

水素および燃料電池、エネルギー4.0、電力工学の各分野における最新製品を紹介

「ハノーバーメッセ 2025」は、産業エネルギー供給の未来を形づくりします。メインテーマに「Industrial Transformation – Energizing a Sustainable Industry (産業変革 - 持続可能な産業の活性化)」を掲げるハノーバーメッセは、水素・燃料電池からエネルギー4.0、電力工学まで、さまざまな分野から多数のメーカーやソリューションプロバイダーが一堂に会する世界有数の産業見本市です。

産業界、科学界、および政界から訪れる来場者は、デジタル化、脱炭素化、エネルギー効率、自家発電、コスト削減、価格変動、レジリエンスといったトピックについて、理解を深めることができます。

「ハノーバーメッセ 2025」は、産業用エネルギー供給の発展を促進します。3月31日から4月4日まで、「産業用エネルギー」展示エリアでは、欧州最大の水素展示会である「Hydrogen + Fuel Cells EUROPE」をはじめ、水素および燃料電池、エネルギー4.0、電力工学の各分野における最新の製品およびサービスを紹介します。各エネルギーホールでは、エネルギー生成、管理、分配、貯蔵に関する最新の技術的ソリューションを紹介する展示やプレゼンテーション、ネットワーキングイベントが行われます。

ハノーバーメッセの見本市・製品管理担当グローバルディレクター、バシリオス・トリアンタフィロス (Basilius Triantafillos) は次のように述べています。

「製造業界で今最も注目を集めているのは、エネルギー効率とレジリエンスに関するトピックです。ハノーバーメッセでは、出展各社が最新かつ強固な産業用エネルギーシステムを展示します。最新のハイテクソリューションを実際に体験できるのはここだけです。個々の部品やコンポーネントから、エネルギーフローの最適化を目的としたビッグデータの利用、人工知能の応用まで、持続可能なエネルギー供給に必要なものすべてを、ここ一カ所で見つけることができるのです」

「産業用エネルギー」エリアでは、世界中から参加した国際企業、中小企業、スタートアップ企業が出展を行います。GPジュール、Janitza、Wöhner、PreZero、EMKA といった馴染み深いブランドによる出展や、バーデン=ヴュルテンベルク州、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン州、ブラ

ンデンブルク州、EUによる大規模なグループ出展も行われます。

■水素：未来のエネルギー源

「ハノーバーメッセ 2025」は、産業の脱炭素化と持続可能なエネルギーの未来を創造する上で、水素が果たす重要な役割に着目します。水素は万能のエネルギー担体であり、例えば排出ガスフリーのプロセスを実現する、エネルギー効率を高めるなど、さまざまな産業用途があります。生産者とユーザーは、共同でプロジェクトを立ち上げ、持続可能な水素産業の発展に必要な枠組みについて話し合うため、ハノーバーで面会することもできます。また来場者は、グリーン水素製造から燃料電池技術、インフラプロジェクトまで、幅広い技術やプロセスに出会うことでしょう。

ホール13で行われる展示「Hydrogen + Fuel Cells EUROPE」が、ハノーバーメッセにおける水素コミュニティの中核として機能します。出展者に加え、2つのフォーラムでは司会者によるインタビューやディスカッション、技術プレゼンテーションが行われます。

■エネルギー4.0：エネルギー部門のデジタルエボリューション

エネルギー4.0は、エネルギー産業にデジタル技術を統合することを意味します。ハノーバーメッセでは、出展各社が、エネルギーの生成と分配の効率性と持続可能性に関する具体的な課題に対応した製品やソリューションを紹介します。

「リアルタイムデータ管理、スマートセンサー技術、ソフトウェアベースのデータ分析などのアプリケーションを統合することにより、エネルギー消費のモニタリング、コスト最適化、二酸化炭素排出量の削減が可能になります。企業はエネルギー効率を高めるだけでなく、エネルギー需要の変動に対処し、再生可能エネルギーの利用を最適化することができます」とトリアンタフィロスは説明しています。

「エネルギー4.0カンファレンスステージ」では、エネルギーシステム全体を重視しつつ、産業界における安定的かつレジリエントなエネルギー供給に向けた実用的なソリューションにスポットライトを当てます。デイリープログラムには、エネルギー生成から使用量の最適化、効率的な貯蔵に至るまで、さまざまなテーマに関する基調講演、レクチャー、パネルディスカッションが含まれています。共催は、ドイツ機械工業連盟（VDMA）、ドイツ電気・電子・情報技術協会（VDE）、およびドイツ電気・電子工業会（ZVEI）となっています。

■電力工学：効率性と持続可能性に着目

産業界の未来を拓くには、電力工学の継続的な進歩が不可欠です。ハノーバーメッセでは、出展各社がエネルギーの生成、貯蔵、分配に関する最先端技術を紹介し、先進的な送電システム、蓄電池、スマートグリッドなど、現代の電力工学におけるイノベーションがいかに効率を高め、二酸化炭素排出量を削減できるかについて実証します。

「エネルギー技術フォーラム」の議題には、強固なエネルギーインフラの開発が含まれています。各企業が、脱炭素の電力・熱供給から産業用モビリティまで、具体的な応用例を紹介します。産業界や学界から専門家が一堂に会し、最新の動向とその影響について議論を行います。

■コンプレストエア&バキューム（コンプレッサーと真空技術）

「ハノーバーメッセ 2025」では、コンプレッサー&真空技術部門の出展を再開します。「コンプレストエア&バキューム（コンプレッサーと真空技術）」展示エリアは、水素ホール13のすぐ近くに位置していますが、この配置は、これら2つの産業の相乗効果を強調することを意図したものです。特に、製造業におけるコンプレッサー&真空技術の最適化に関する専門知識を持った多数のサプライヤーが、成長著しい水素エネルギーおよび貯蔵分野向けにソリューションを提供します。

【本件に関するお問い合わせ先】

合同会社 International Linkage ドイツメッセ日本代表：竹生

東京都世田谷区玉川 3-20-2 マノア玉川第 3 ビル 501

TEL：080-1396-9902、または 03-6403-5817